

ハドロン実験施設の現況

J-PARC センター

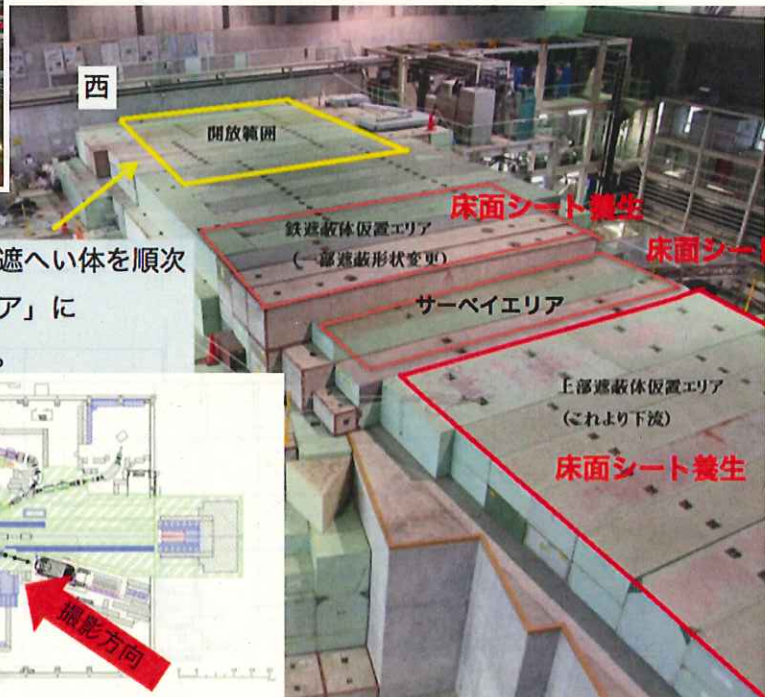
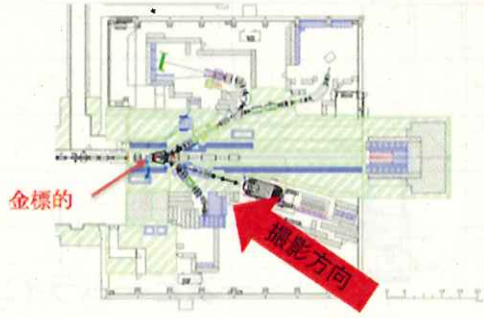
ハドロン実験施設



排風ファンの封止状況
(今年度末までに撤去して封止します。)

南

この部分の遮へい体を順次
「仮置エリア」に
移動します。



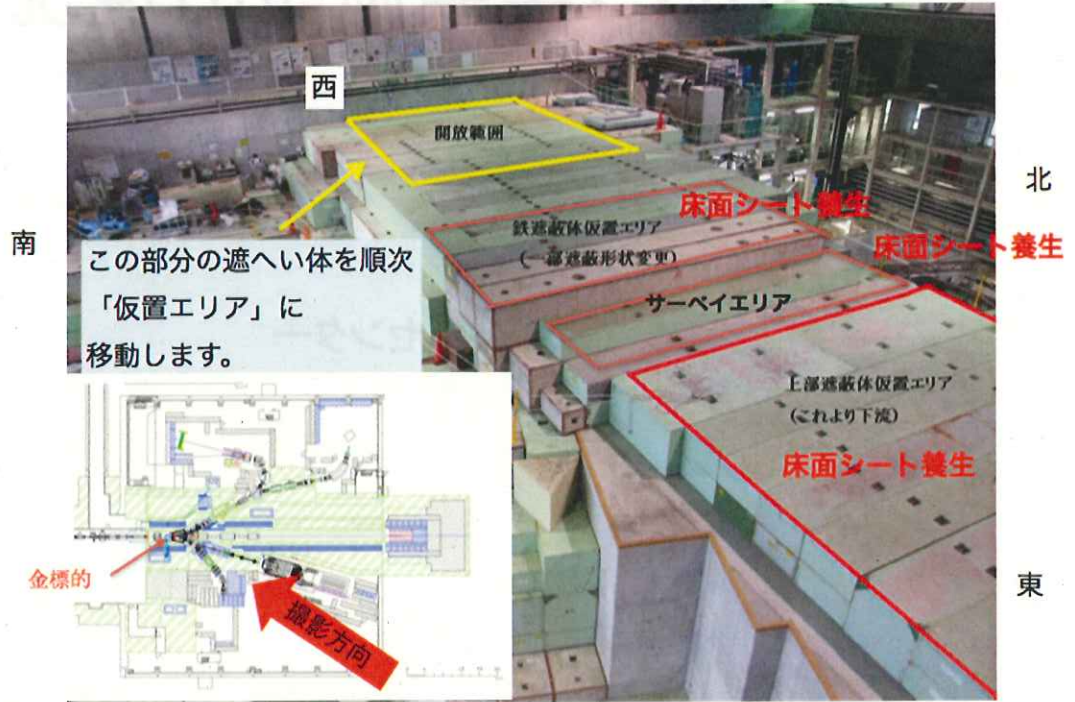
北

床面シート養生

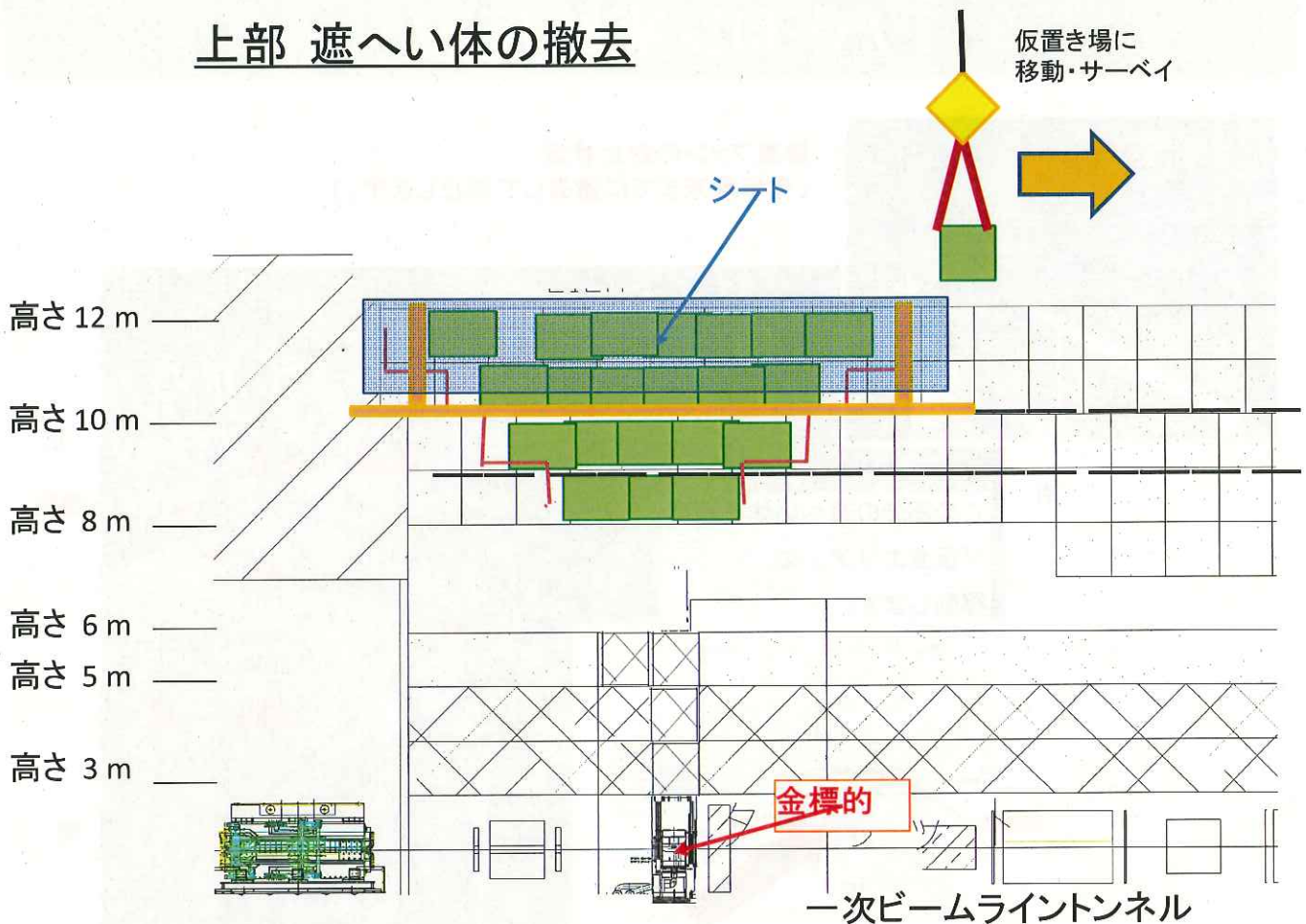
東

「金標的観察」のための作業

事故の原因となった金標的を直接観察する調査のために、標的周辺の遮へい体を一時撤去する作業を行っています。



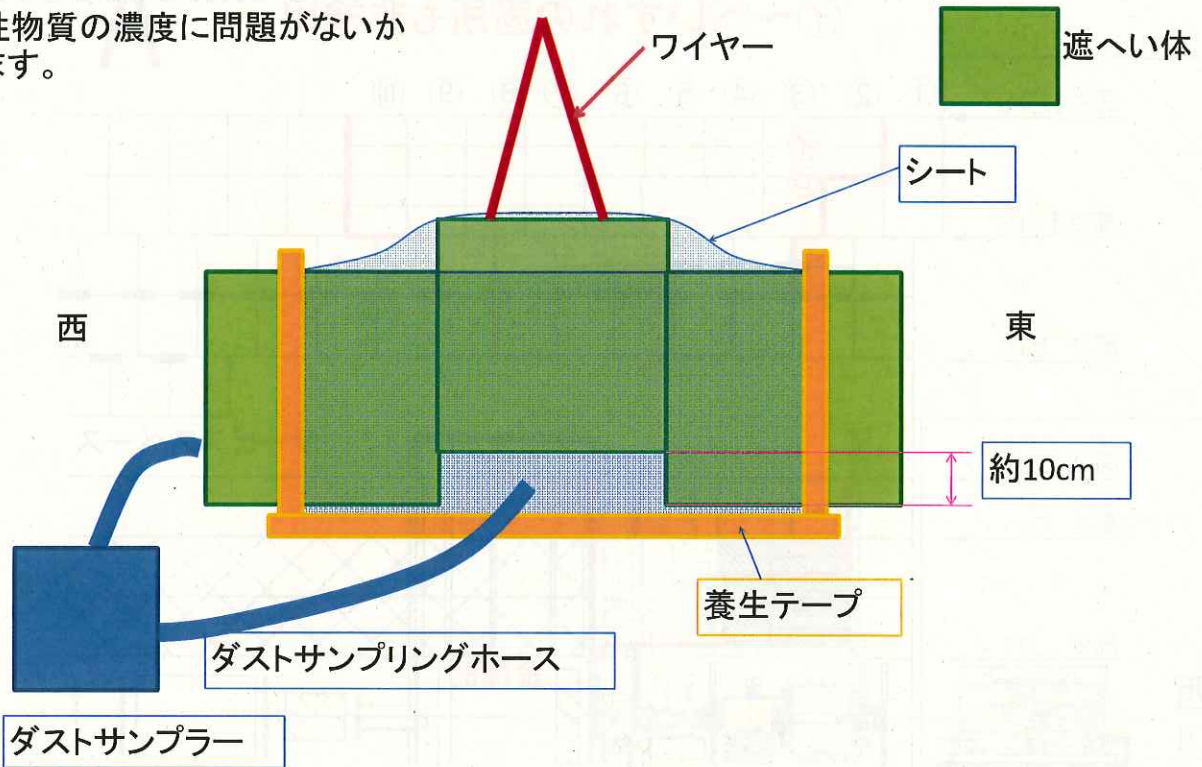
上部 遮へい体の撤去



上部 遮へい体の撤去

遮蔽体は取り外し後
サーベイ、スミヤなどの
汚染検査を行います。

遮へい体ブロッカー層毎に
空気のサンプリングを行い、
放射性物質の濃度に問題がないか
調べます。

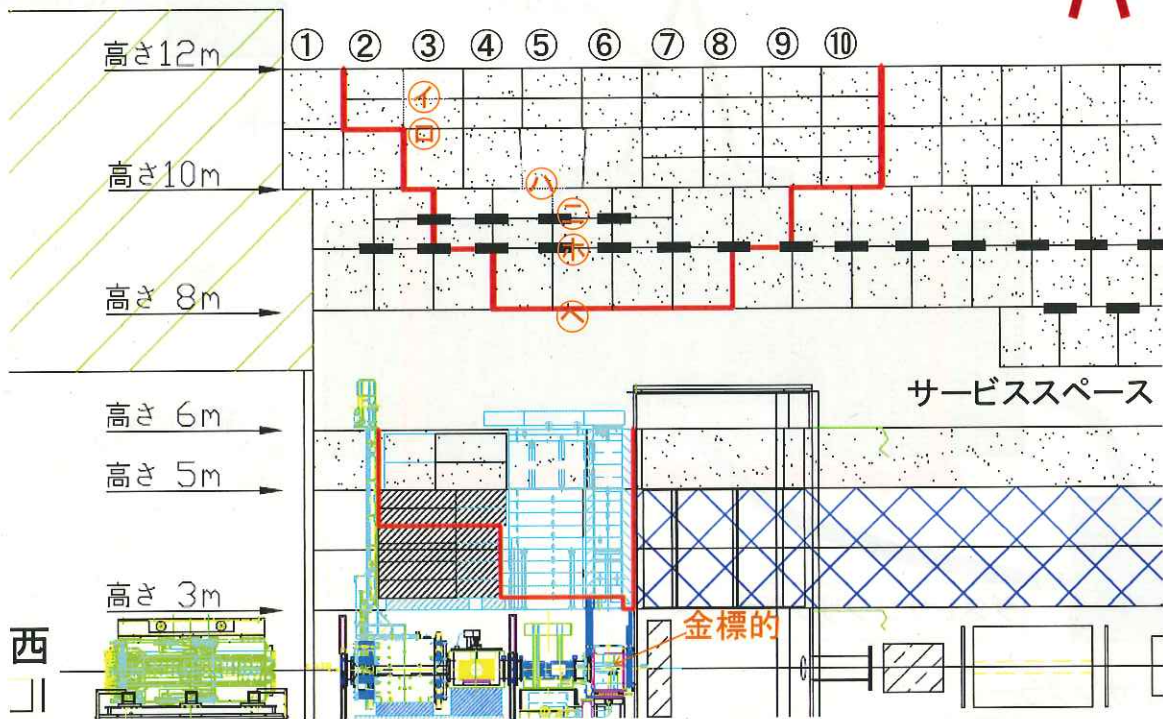


遮へい体作業の様子



遮蔽体の中の空気中の放射能濃度測定

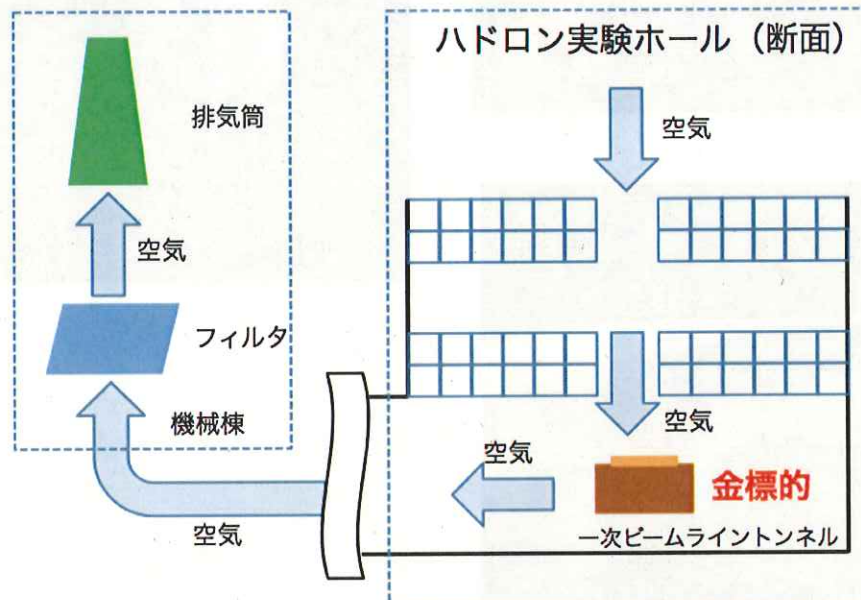
①～⑩いずれの箇所も非検出



「金標的観察」のための作業

- 標的が置かれている一次ビームライントネル内の空気を連続的に排気しながら作業を行っています。
- 排気はフィルタを通し、検出下限* 以下に低減して、監視しながら行っています。

* 排気中濃度限度の100分の1以下
ヨウ素で $8 \times 10^{-6} \text{ Bq/cm}^3$



「金標的観察」のための作業

上部のコンクリート遮へい体の移動を進め、
下部の鉄遮へい体の移動にとりかかりました。

金標的上部の遮へい体



鉄遮へい体(厚さ3m)の下に
金標的が設置されている。

「金標的観察」のための作業

上部のコンクリート遮へい体の移動を進め、
下部の鉄遮へい体の移動にとりかかりました。

金標的上部の遮へい体



鉄遮へい体(厚さ3m)の下に
金標的が設置されている。

・サービススペースでのスミア

- 表面密度は
最大で 0.8 Bq/cm^2

作業終了時はフレーム付シートで封止し、



さらに上部をビニールシートで覆う



ハドロン実験ホール建屋設備の改修

再発防止対策!

- 既設排風ファンの封止!
- フィルタ付き排気設備の新設!
- 汚染検査室の新設!
- 監視装置の新設

